博士前期課程

● 出願関係用紙（次の各用紙が綴じ込んであることを確認してください）

Ａ票	入学志願票	Ｂ票	受験票
Ｃ票	写真票	Ｄ票	受験料納付票
Ｅ票	志願理由書	Ｆ票	受験許可・就学承諾書

その他　入学受験料郵便振込用紙、出願用封筒

● 出願資格審査用関係用紙

Ｇ票　　出願資格審査申請書

1．養成する人材像

社会から信頼され、地域社会及び地域の人々の健康課題の解決並びに保健医療福祉の質の向上に貢献するとともに、看護学の発展に寄与するため、専門的知識と高い職業倫理を持って保健医療福祉の専門分野における実践上の課題を探究し、科学的手法を用いて解決できる教育・研究者並びに管理者・高度実践者

2．ディプロマ・ポリシー：修了認定・学位授与の方針

1. 保健医療福祉の専門分野における専門的な知識並びに高い職業倫理を有する。
2. 保健医療福祉の専門分野における実践上の課題を探究できる能力を有する。
3. 探究した実践上の課題に対して科学的手法を用いて解決できる能力を有する。

3．カリキュラム・ポリシー：教育課程編成・実施の方針

1. 保健医療福祉の専門分野における専門的な知識並びに高い職業倫理を養成するため、共通科目を置く。共通科目は、保健医療福祉の専門分野における国内外の保健医療福祉、統計、理論、研究、政策、倫理、教育、情報科学に関する科目を配置し、教育・研究・管理・実践の基盤となる知識や態度を教育する。
2. 保健医療福祉の専門分野における実践上の課題を探究できる能力を養成するため、専門科目を置く。専門科目は、基盤機能看護学と実践看護学の 2 分野から構成し、各専門分野における実践上の課題を探究する基盤となる特論ならびに演習、実習科目を配置し、専門的な教育を行う。
3. 探究した実践上の課題に対して科学的手法を用いて解決できる能力を養成するため、研究科目を置く。研究科目として、「特別研究Ⅰ」、「特別研究Ⅱ」並びに「課題研究」を各学年に配置し、複数指導体制をとりながら一連の研究過程を段階的に指導する。
4. 講義・演習・実習科目は、シラバスに明示される成績評価基準により評価する。修士論文は、修士論文審査並びに最終試験により評価する。

4．アドミッション・ポリシー：入学者受入れの方針

1. 保健医療福祉専門職者としての知識並びに職業倫理を有する人。
2. 保健医療福祉の専門分野における国外の動向及び実践上に課題意識を有し、解決に取

り組む意欲を有する人。

3. 保健医療福祉専門職者として自己研鑽し続ける意欲を有する人。

【禁煙への取り組みについて】

獨協医科大学では、人々の健康を守る医療職者を育成する大学として、入学者は喫煙しないことを約束できる方とします。

5．募集人員・出願資格

募 集 人 員

研究科名	課程名	専攻名	募集人員
看護学研究科	博士前期課程	看護学専攻	10 名

令和 4 年 4 月より、獨協学園姫路医療系高等教育・研究機構にサテライトキャンパスを開設し学生を募集しております。

専攻分野

	論文コース	専門看護師コース
基盤・機能看護学	看護管理学 生体防御・感染看護学 基礎看護学	生体防御・感染看護学
実践看護学	女性健康看護学 小児看護学 慢性看護学 がん看護学 老年看護学 地域看護学 在宅看護学 精神看護学	慢性看護学 がん看護学 老年看護学 在宅看護学 精神看護学 クリティカルケア看護学 遺伝看護学※

※専門看護師コース「遺伝看護学」については、令和6年7月に日本看護系大学協議会
高度実践看護師教育課程認定申請中です。

分野別担当教員

分野	教員名	連絡先
基盤・機能看護学	上田　理恵（看護管理学）	ueda-r@dokkyomed.ac.jp
	板倉　朋世（基礎看護学）	itakura@dokkyomed.ac.jp
実践看護学	礒山あけみ（女性健康看護学）	a-isoyama@dokkyomed.ac.jp
	小西　美樹（小児看護学）	konimiki@okkyomed.ac.jp
	鈴木　珠水（慢性看護学）	suzukita@dokkyomed.ac.jp
	小西　敏子（がん看護学）	konishit@dokkyomed.ac.jp
	金子　昌子（老年看護学）	s-kaneko@dokkyomed.ac.jp
	辻　　容子（老年看護学）	y-tsuji@dokkyomed.ac.jp
	守田　孝恵（地域看護学）	t-morita148@dokkyomed.ac.jp
	高瀬　佳苗（地域看護学）	t-takase@dokkyomed.ac.jp
	甲州　　優（在宅看護学）	yu-koshy@dokkyomed.ac.jp
	関根　　正（精神看護学）	t-sekine@dokkyomed.ac.jp
	迫田　典子（クリティカルケア看護学）	n-sakoda@dokkyomed.ac.jp

※遺伝看護学（日本看護系大学協議会に申請中）の相談については、看護学研究科事務室（kangogakubu@dokkyomed.ac.jp）にご連絡ください。

科 目 構 成 （論文コース）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実習
共通科目		看護マネジメント論	1・2前	2			○		
		保健統計学	1前	1			○		
		看護研究Ⅰ（概論）	1前	2			○		
		看護研究Ⅱ（量的・質的研究）	1後	2			○		
		看護情報科学特論	1・2前		2		○		
		生命倫理	1・2前		1		○		
		看護倫理	1・2後		2		○		
		看護政策論	1前		1		○		
		看護理論	1・2後		2		○		
		行動理論	1・2後		2		○		
		コンサルテーション論	1後		1		○		
		フィジカルアセスメント	1前		2		○		
		看護病態生理学	1前		2		○		
		臨床看護薬理学	1前		2		○		
		高度実践看護展開演習	1後		1			○	
		遺伝子診断と疾患の分子生物学	1後		1		○		
		国際医療保健論	1後		1		○		
		国際言語文化論入門（英語分野）	1後		1		○		
		小計（ 18 科目）	－	7	21	0	－		
専門科目	基盤・機能看護学	基礎看護学特論	1・2前		2		○		
		看護管理学特論	1・2前		2		○		
		生体防御・感染看護学特論Ⅰ（感染看護）	1・2前		2		○		
		生体防御・感染看護学特論Ⅱ（生体防御機能）	1・2前		2		○		
		シミュレーション教育論	1・2後		2		○		
		基盤・機能看護学演習Ⅰ	1通		4			○	
		基盤・機能看護学演習Ⅱ	1通		4			○	
		小計（ 7 科目）	－	0	18	0	－		
	実践看護学	女性健康看護学特論	1・2前		2		○		
		小児看護学特論	1・2前		2		○		
		慢性看護学特論Ⅰ（セルフケアの再獲得）	1・2前		2		○		
		慢性看護学特論Ⅱ（セルフマネジメント）	1・2前		2		○		
		がん看護学特論	1・2前		2		○		
		がん終末期看護特論	1・2前		2		○		
		老年看護学特論Ⅰ（老年病看護学）	1・2前		2		○		
		老年看護学特論Ⅱ（認知症高齢者看護）	1・2前		2		○		
		老年施設看護特論	1・2前		1		○		
		地域看護学特論	1・2前		2		○		
		在宅看護学特論	1・2前		2		○		
		精神看護学特論	1・2前		2		○		
		実践看護学演習Ⅰ	1通		4			○	
		実践看護学演習Ⅱ	1通		4			○	
		小計（ 14 科目）	－	0	31	0	－		
研究科目		特別研究Ⅰ	1通	2				○	
		特別研究Ⅱ	2通	4				○	
		小計（ 2 科目）	－	6	0	0	－		
合計（ 41 科目）			－	13	72	0	－		

科 目 構 成 （専門看護師コース）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実習
共通科目			看護マネジメント論	1・2前		2		○		
			看護研究	1前		1		○		
			看護政策論	1前		1		○		
			生命倫理	1・2前			1	○		
			看護倫理	1・2後		2		○		
			看護理論	1・2後		2		○		
			コンサルテーション論	1後		1		○		
			フィジカルアセスメント	1前	2			○		
			看護病態生理学	1前	2			○		
			臨床看護薬理学	1前	2			○		
			高度実践看護展開演習	1後			1		○	
			遺伝子診断と疾患の分子生物学	1後			1	○		
			国際医療保健論	1後			1	○		
			国際言語文化論入門（英語分野）	1後			1	○		
			保健統計学	1前			1	○		
			看護情報科学特論	1・2前			2	○		
			行動理論	1・2後			2	○		
			小計（ 17 科目）	－	6	9	10	－		
専門科目	基盤・機能看護学	感染看護学	感染看護学特論Ⅰ（感染症の基礎知識）	1前		2		○		
			感染看護学特論Ⅱ（無菌法の応用と感染症の診断・治療）	1前		2		○		
			感染看護学特論Ⅲ（感染症看護専門看護師の基盤）	1後		3		○		
			感染看護学特論演習Ⅰ（感染防止技術）	1後		2			○	
			感染看護学特論演習Ⅱ（感染管理）	1後		2			○	
			感染看護学特論演習Ⅲ（感染症看護専門看護師活動の実際）	1後		3			○	
			感染看護学実習Ⅰ（感染症看護専門看護師の役割）	2前		3				○
			感染看護学実習Ⅱ（感染症患者と感染制御）	2前		3				○
			感染看護学実習Ⅲ（感染症患者の看護）	2前		4				○
			小計（ 9 科目）	－	0	24	0	－		
	実践看護学	慢性看護学	慢性看護学特論Ⅰ（慢性病者の理解）	1前		2		○		
			慢性看護学特論Ⅱ（慢性病者の理解・査定と支援技術）	1前		4		○		
			慢性看護学特論Ⅲ（慢性病者に関連する制度と療養環境）	1前		4		○		
			慢性看護学特論演習Ⅰ（慢性病者の査定）	1後		2			○	
			慢性看護学特論演習Ⅱ（慢性病者への支援技術）	1後		2			○	
			慢性看護学実習Ⅰ（専門看護師の役割理解）	1後		2				○
			慢性看護学実習Ⅱ（慢性期／外来）	2前		2				○
			慢性看護学実習Ⅲ（急性増悪期・回復期・終末期／病棟）	2前		6				○
		がん看護学	がん看護学特論Ⅰ（腫瘍病態学）	1前		2		○		
			がん看護学特論Ⅱ（がん看護理論）	1前		2		○		
			がん看護学特論Ⅲ（がん看護援助論）	1前		2		○		
			がん看護学特論Ⅳ（がん薬物療法看護）	1後		2		○		
			がん看護学特論Ⅴ（がん薬物療法看護方法論）	1後		2		○		
			がん看護学特論Ⅵ（緩和ケア）	1後		2		○		
			がん看護学特論Ⅵ演習（緩和ケア演習）	1後		2			○	
			がん看護学実習Ⅰ（診断と治療）	1後		2				○
			がん看護学実習Ⅱ（高度実践・役割）	2前		4				○
			がん看護学実習Ⅲ（緩和ケア）	2前		3				○
			がん看護学実習Ⅳ（在宅緩和ケア）	2前		1				○

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実習
専門科目	実践看護学	老年看護学	老年看護学特論Ⅰ（老年看護学の基盤）	1前		2		○		
			老年看護学特論Ⅱ（アセスメント・健康生活評価）	1前		2		○		
			老年看護学特論Ⅲ（老年病病態治療学）	1前		2		○		
			老年看護学特論Ⅳ（看護介入方法）	1後		2		○		
			老年看護学特論Ⅴ（保健医療福祉政策・サポートシステム）	1後		2		○		
			老年看護学演習Ⅰ（老年急性期看護）	1後		2			○	
			老年看護学演習Ⅱ（認知症高齢者看護）	1後		2			○	
			老年看護学実習Ⅰ（老年急性期高度実践看護・役割）	2前		6				○
			老年看護学実習Ⅱ（認知症高齢者高度実践看護・役割）	2前		4				○
		在宅看護学	在宅看護学特論Ⅰ（在宅看護の基盤となる制度とケアマネジメント）	1前		4		○		
			在宅看護学特論Ⅱ（在宅療養者の治療とアセスメント）	1前		4		○		
			在宅看護学特論Ⅲ（在宅看護の援助方法）	1前		2		○		
			在宅看護学特論演習Ⅰ（医療的ケアに関する看護）	1後		2			○	
			在宅看護学特論演習Ⅱ（終末期ケアに関する看護）	1後		2			○	
			宅宅看護学実習Ⅰ（退院支援・調整と在宅チーム医療）	1後		2				○
			在宅看護学実習Ⅱ（訪問看護ステーション等の開設、管理・運営）	1後		2				○
			在宅看護学実習Ⅲ（医療的ケアに関する看護）	2前		3				○
			在宅看護学実習Ⅳ（終末期ケアに関する看護）	2前		3				○
		精神看護学	精神看護学特論Ⅰ（歴史・法制度）	1前		2		○		
			精神看護学特論Ⅱ（精神看護アセスメント）	1前		2		○		
			精神看護学特論Ⅲ（診断と治療）	1後		2		○		
			精神看護学特論Ⅳ（精神看護理論）	1前		2		○		
			精神看護学特論Ⅴ（援助方法）	1後		2		○		
			精神看護学特論Ⅵ（リエゾン精神看護）	1後		2		○	○	
			精神看護学特論Ⅶ（児童・思春期精神看護）	1後		2		○	○	
			精神看護学特論Ⅷ（慢性期精神看護）	1後		2		○	○	
			精神看護学演習（治療技法）	1後		2			○	
			精神看護学実習Ⅰ（診断と治療）	1後		2				○
			精神看護学実習Ⅱ（役割機能とコーディネーション）	2前		2				○
			精神看護学実習Ⅲ（直接ケア）	2前		4				○
			精神看護学実習Ⅳ（リエゾン精神看護）	2前		2				○
			精神看護学実習Ⅴ（児童・思春期精神看護）	2前		2				○
			精神看護学実習Ⅵ（慢性期精神看護）	2前		2				○
		クリティカルケア看護学	クリティカルケア看護学特論Ⅰ（危機とストレス）	1前		2		○		
			クリティカルケア看護学特論Ⅱ（フィジカルアセスメント）	1前		2		○		
			クリティカルケア看護学特論Ⅲ（治療管理）	1前		2		○		
			クリティカルケア看護学特論演習Ⅰ（援助関係）	1前		2			○	
			クリティカルケア看護学特論演習Ⅱ（倫理調整）	1後		2			○	
			クリティカルケア看護学特論演習Ⅲ（緩和ケア）	1後		2			○	
			クリティカルケア看護学特論演習Ⅳ（高度実践）	1後		2			○	
			クリティカルケア看護学実習Ⅰ（重症集中ケア）	1後		3				○
			クリティカルケア看護学実習Ⅱ（救命救急）	2前		3				○
			クリティカルケア看護学実習Ⅲ（役割開発）	2前		4				○
			小計（ 62 科目）	―	0	128	0	―		
研究科目			課題研究	2通	2				○	
			小計（ 1 科目）	―	2	0	0	―		
合計（ 89 科目）				―	8	186	10	―		

出 願 資 格

本研究科の出願資格は次のいずれかに該当する者とします。

1） 大学を卒業した者又は令和 7 年 3 月卒業見込みの者
2） 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者又は令和 7 年 3 月までに授与見込みの者
3） 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者
4） 外国の学校が行う通信教育をわが国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者
5） わが国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学日本校）を修了した者
6） 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（前二号の規定による課程を修了することを含む）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
7） 文部科学大臣が指定した専修学校の専門課程を修了した者
8） 文部科学大臣の指定した者
9） 看護学研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22 歳以上の者（P.9 参照）

6．出願期間・出願手続

出 願 期 間

第 1 期　令和 6 年 10 月 1 日（火）～令和 6 年 10 月 21 日（月）
第 2 期　令和 7 年 1 月　6 日（月）～令和 7 年　1 月 20 日（月）

（注）1　郵送による場合は、本学所定の封筒を用い、「書留速達郵便」で、出願期間内必着となります。
　　2　直接持参による場合は、平日の午前 9 時から午後 4 時までに（土曜日、日曜日及び祝日を除く）本学大学院看護学研究科事務室に提出してください。

出願前の事前面接

出願前に志望する領域の教員と必ず面接を行ってください。特に専門看護師コースは、論文コースとは修了要件が異なり、取得単位数が 40 単位以上であるため、修学に専念することが望ましく、入学後の研究・教育活動についても、事前によく相談してください。

事前面接の連絡先：獨協医科大学大学院看護学研究科　事務室
E-mail：kangogakubu@dokkyomed.ac.jp
電　話：0282-87-2489（事務室直通）

お電話の際、志望領域、研究テーマが決まっているか否か、連絡先、事前面接の希望日等を伺います。その後、事務室より面接者、日時を連絡いたします。

出 願 手 続

出願を希望する者は、「出願に必要な書類」を一括して提出してください。

出願に必要な書類		作成方法
A 票	入学志願票	本学所定の用紙を使用すること。 写真 2 枚（出願日前 3 ヶ月以内に撮影した上半身、正面、無帽のもの、縦 4cm×横 3cm、カラー写真）を入学志願票、写真票に貼付すること。 なお、2 枚とも同一写真としてください。
B 票	受験票	
C 票	写真票	
D 票	受験料納付票	受験料納付票に「振替払込受付証明書」原本又は「ご利用明細票（振替受付票）」（コピー）を貼付してください。
	成績証明書	出身大学長が作成し、厳封したもの。 なお、看護系の短期大学、専修学校等で看護師、保健師、助産師教育を受けた者は、当該校の成績証明書も提出すること。 出願資格 2）に該当し、科目等履修制度にて単位を修得した者は、当該校の成績証明書を提出すること。 ＊いずれの書類も出願前 6 ヶ月以内のものに限る。
	卒業（見込み）証明書	出身大学長が作成したもの。 なお、出願資格 2）に該当する者は、学位授与証明書を提出すること。 ただし、令和 7 年 3 月までに授与見込みの者については、学位授与申請受理証明書を提出のこと。また、入学後に学位授与証明書を提出すること。 ＊いずれの書類も出願前 6 ヶ月以内のものに限る。
	資格取得（見込み）証明書	看護師、保健師、助産師の免許の写しを A4 サイズに縮小して提出すること。なお、看護師国家試験受験資格取得（見込み）証明書は、出身大学長が作成したもの。
E 票	志願理由書※	本学所定の用紙を使用すること。800 字以内。
	受験料	30,000 円 本学所定の振替払込書用紙を用い最寄の郵便局から払いこみ、郵便振替払込受付証明書を受験料納付票貼付欄に貼付のこと。
	外国人出願者	外国人出願者は、上記の出願書類のほかに、（財）日本国際教育支援協会が実施する「日本語能力試験（2 級以上）」の「認定結果及び成績に関する証明書」を提出すること。

○上記「※」印の書類は、本研究科ホームページからダウンロードすること。

注意：①出願書類等に不備がある場合、受理しないことがあります。

②提出した書類および受験料は、いかなる場合でも返還いたしません。

社会人選抜

P.8 の提出書類のほかに、下記の書類も提出してください。

F 票	受験許可・就学承諾書	本学所定の用紙を使用し、勤務先の施設長が記入したもの。

出願資格審査

出願資格（P.7）の 9）の審査を受ける条件は、次のいずれかに該当する者とします。

a）大学に 3 年以上在学した者

b）査読のある学術雑誌へ掲載、または学会の発表経験を有する者

c）勤務先の所属長の推薦を受けることができる者

出願資格審査を希望する者は、事前に審査を行うので、次の書類を取り揃え、申請期間内に事務室まで持参または書留にて郵送してください。（郵送の場合は必着）

1）提出期間

〈第 1 期〉　令和 6 年 7 月 29 日（月）～ 8 月 30 日（金）午後 4 時まで

〈第 2 期〉　令和 6 年 11 月 1 日（金）～ 11 月 29 日（金）午後 4 時まで

〈科目等履修生〉 令和 7 年 1 月 6 日（月）～ 1 月 31 日（金）午後 4 時まで

2）提出書類

G 票	出願資格審査申請書
	上記 a）～c）の条件により、次の書類を提出すること。 条件 a）に該当する方･･･在学していたことを証明する書類 条件 b）に該当する方･･･学会発表の抄録の写し、学術雑誌掲載の写し 条件 c）に該当する方･･･推薦書

3）提出先

〒321-0293

栃木県下都賀郡壬生町北小林 880 番地

獨協医科大学　大学院看護学研究科事務室

※郵送の場合は、簡易書留郵便で送付してください。

4）審査結果の通知

出願資格審査結果については、本人宛てに通知書を発送します。

〈第 1 期〉　令和 6 年 9 月 19 日（木）

〈第 2 期〉　令和 6 年 12 月 19 日（木）

〈科目等履修生〉 令和 7 年 2 月 20 日（木）

7．選抜方法・試験期日・試験科目等

選 抜 方 法

入学者選抜では、筆記試験と面接及び出願書類により総合的に判定します。

試 験 期 日

区分	試　験　日
第１期	令和６年 11 月２日（土）
第２期	令和７年　２月１日（土）

試験科目及び時間割

○論文コース

試験科目	時間
英　語	9:30～10:30
小論文	10:50～11:50
面　接	12:30～

○専門看護師コース

試験科目	時間
英　語	9:30～10:30
専門科目	10:50～11:50
面　接	12:30～

＊英語の試験については、辞書１冊持ち込み可（電子辞書は不可）

＜受験上の注意事項＞

①受験票は、試験当日必ず携帯し、忘れた場合には、その旨を受付に申し出て受験票の再発行を受けてください。また、受験票は、入学手続の際に必要となりますので、試験後も大切に保管してください。

②試験当日は、午前 9 時 10 分までに試験室に入室してください。また、試験開始後 20 分以上の遅刻者には入室を認めません。

③自分の受験番号と同番号の机上票の貼付された席につき、受験票を机上票の手前に置いてください。

④机上には、受験票のほか、シャープペンシル、黒鉛筆、消しゴム、鉛筆削り、時計、メガネ、ティッシュペーパー（中身のみ）、ハンカチ、目薬、辞書１冊（英語の試験のみ）を置くことができます。その他の携帯品は、試験室内の所定の場所に置いてください。

⑤携帯電話等はアラームの設定を解除した上で、必ず電源を切り携帯品と同様所定の場所に置いてください。

⑥昼食等は、必要に応じ各自持参してください。

試 験 会 場

栃木県下都賀郡壬生町北小林 880 番地　獨協医科大学看護学部棟

※巻末の「試験場」を参照のこと。

8．合格者の発表

発 表 日 時

第１期　令和６年11月21日（木）午前10時
第２期　令和７年 ２月20日（木）午前10時

発 表 方 法

第１期・第２期とも本学看護学部棟入口に掲示するとともに、本人宛通知します。
なお、本学大学院ホームページでも閲覧できます。
URL　https://www.dokkyomed.ac.jp/
※掲示発表を正式とします。
電話での問い合わせには一切応じません。

9．入学手続等

入学手続期間

第１期　令和６年12月　２日（月）～令和６年12月　６日（金）
第２期　令和７年　２月28日（金）～令和７年　３月　６日（木）

入学手続方法

合格者には、合格通知書と入学手続書類を願書に記載された合格通知書等の送り先に送付しますので、期間中に入学手続を完了してください。期日までに所定の手続を完了しない場合は、入学を辞退したものとして扱います。

・持参による手続
　受付時間：午前10時～午後４時
　手続場所：栃木県下都賀郡壬生町北小林880番地
　　獨協医科大学大学院看護学研究科　事務室

・郵送による手続
　「書留速達」で郵送してください。手続期間内必着とします。
　送 付 先：〒321-0293
　　栃木県下都賀郡壬生町北小林880番地
　　獨協医科大学大学院看護学研究科　事務室

入学に必要な学費

入学金	200,000円
授業料（年額）	600,000円
合計	800,000円

※入学手続き完了後、令和７年３月31日（月）午後５時までに入学辞退を申し出た場合は、入学金を除く学費を返還します。なお、期限後の入学辞退は、理由の如何に関わらず既に納入した学費は一切返還いたしません。

１０．社会人の就学に関する配慮

大学院設置基準第 14 条による教育方法の特例

本研究科は、設置趣旨である現在医療機関等で働いている看護職者の資質向上に貢献する目的で社会人受け入れに対応しています。そのため、大学院設置基準第 14 条に定める教育方法の特例を用いて、必要に応じ、夜間開講講義、集中講義を導入するとともに、長期履修制度を導入し在職のまま学ぶことができるよう配慮します。

【大学院設置基準第 14 条】

大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行うなどの適当な方法により教育を行うことができる。

長期履修学生制度について

職業を有している等の事情により、標準修業年限（2 年）での修学が予め困難であることが見込まれる場合は、標準修業年限を超えて一定の期間（3 年）までの、計画的な教育課程の履修を認めています。

なお、博士前期課程専門看護師コースにおいては、その教育課程の変遷や特性から学修に専念する必要性が高いことから、長期履修制度は導入しておりません。

長期履修学生制度を希望する場合は、事前に大学院看護学研究科事務室に相談してください。

授業方法の特例

授業の実施方法は、共通科目及び専門科目の授業は対面授業、研究科目における研究指導はゼミ形式による対面指導を基本としますが、仕事等のために大学に登校できない学生に対しては、状況に応じて、オンラインによる授業・指導も可能といたします。

１１．その他

奨学金制度

学費支弁の困難な学生には、学業成績と経済的事情を考慮した奨学金制度があります。

種類は次のとおりです。（選考あり）

（1）日本学生支援機構奨学金

・第一種奨学金（無利子）	50,000 円	88,000 円	
・第二種奨学金（有利子）	50,000 円	80,000 円	100,000 円
	130,000 円	150,000 円	

（2）獨協医科大学大学院奨学金　　月額 100,000 円（無利子）

教育・研究費補助制度

学修・研究活動に要する費用の一部を補助する「教育・研究費制度」があります。
博士前期課程　200,000 円/年（2 年間）

個人情報の取り扱いについて

出願及び入学手続にあたって提出いただいた個人情報は、入学試験の実施・合格発表から入学手続及び入学後の修学指導・支援等、大学が必要と判断した事項を行うために利用します。これらの業務の一部を、獨協医科大学が指定した業者に委託することがあります。予めご了承ください。

１２．科目等履修生

看護学研究科の所定の授業科目のうち、一部の科目について履修することを志願する者は、選考のうえ、科目等履修生として入学することができます。（本募集要項 P.17～20 を参照）

獨協医科大学大学院
看護学研究科　事務室
〒321-0293
栃木県下都賀郡壬生町北小林 880 番地
電　話　0282(86)1111（代表）
　　0282(87)2489（事務室直通）
E-mail：kangogakubu@dokkyomed.ac.jp

＜領域別担当教員及び指導課題＞

領域	氏名	指導課題
基礎看護学	板　倉　朋　世	回復促進に繋がる快適な療養環境の創出を目指し、臭気に関する問題をテーマとする。療養環境の中で発生する様々な臭気の中で、排泄物臭や体臭の制御に関する手法の開発を研究課題とし、医療や福祉施設などの療養環境の「におい」に関する研究指導を行う。
女性健康看護学	礒　山　あけみ	女性の健康および妊娠・出産・育児期の母子ケアを研究課題とし、母性看護および助産に関する研究指導を行う。
小児看護学	小　西　美　樹	新生児・乳児・幼児・学童・思春期の発達段階にある子どもと家族への看護、子どもと家族の心身の健康増進、小児を対象とした看護技術、小児看護学に関する教育評価を研究課題とし、子どもと家族の看護に関する研究指導を行う。
慢性看護学	鈴　木　珠　水	その人を取りまく生活環境についての課題、化学物質に敏感な方のセルフケアと予防、療養支援などの研究に関する研究を研究課題とし、研究指導を行う。
がん看護学	小　西　敏　子	がん患者の各病期において、特に終末期看護に関することを研究課題とし、研究指導を行う。
老年看護学	金　子　昌　子	病期（急性期看護、リハビリテーション看護、がん看護、終末期など）過程にある老年患者・家族への看護ケア開発を研究課題とする老年看護学に関する研究及び看護専門職の教育に関する研究について、研究指導を行う。
	辻　　容　子	高齢者の視覚情報の特徴を捉えた、療養生活における環境調整ケアに関する研究を研究課題とし、研究指導を行う。
地域看護学	守　田　孝　恵	保健所・市町村等の行政機関や産業保健(職域)に所属する保健師や学校保健に所属する養護教諭が、これまで立案・実践されてきた活動を振り返り、概念枠組みを整理し、分析・評価することによりPDCAサイクルを可視化する。その結果として研究論文を作成し、活動の現場へフィードバックできるよう、研究指導を行う。
	高　瀬　佳　苗	山間へき地に住む高齢者や精神障害者の健康行動、透析患者やがん患者の就労との健康課題、口唇口蓋裂者の看護とケアシステム、災害被災者と支援者の関係性を研究課題とし、研究指導を行う。
精神看護学	関　根　　正	精神疾患を有する患者に対する看護、退院支援をするための専門職間の連携協働を研究課題とし、精神看護に関する研究指導を行う。